

第21期 決算公告

平成20年6月26日

大分県大分市中央町2丁目9番22号
大銀スタッフサービス株式会社
代表取締役社長 三好 澄男

貸借対照表 (平成20年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	213,028	流 動 負 債	75,460
現金及び預金	144,101	未払費用	50,984
売掛金	65,794	未払消費税	9,551
貯蔵品	25	預り金	185
前払費用	550	未払法人税等	11,248
仮払金	78	賞与引当金	3,490
未収収益	52	固 定 負 債	8,690
繰延税金資産	2,425	役員退職慰労引当金	4,720
固 定 資 産	10,443	退職給付引当金	3,970
有形固定資産	1,191	負債の部合計	84,150
建物附属設備	773	(純資産の部)	
什器備品	418	株 主 資 本	139,321
無形固定資産	295	資 本 金	20,000
電話加入権	220	利益剰余金	119,321
ソフトウェア	75	その他利益剰余金	119,321
投資その他の資産	8,955	別途積立金	55,450
差入保証金	5,280	繰越利益剰余金	63,871
繰延税金資産	3,675	純資産の部合計	139,321
資産の部合計	223,471	負債及び純資産の部合計	223,471

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産 定率法を採用し、年間減価償却見積額を計上しております。
無形固定資産 定額法を採用し、年間減価償却見積額を計上しております。なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法により償却しております。

(会計方針の変更) 法人税法の改正に伴い、当事業年度より、平成19年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。
これによる、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益に与える影響は、軽微であります。

(追加情報) 当事業年度より、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産のうち償却可能限度額までの償却が終了しているものについては、残存簿価を5年間で均等償却しております。
これによる、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益に与える影響は、軽微であります。

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金 従業員に支給する賞与に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

役員退職慰労引当金 役員退職慰労金の支給に備えるため、当期末に在籍する役員を対象に、内規に基づく期末要支給額を期間により按分し計上しております。なお、当該引当金は会社計算規則第6条2項1号に規定する引当金であります。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における自己都合退職による年間繰入見積額を、期間により按分し計上しております。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式で行っております。

2. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	348,303円86銭
1株当たり当期純利益	72,254円52銭